安全データシート

作成日　2026年　4月 17日
改訂日　2026年 11月　6日

1、【製品及び会社情報】

会　　社	株式会社　栗本鐵工所
住　　所	大阪市住之江区柴谷２丁目８番４５号
担 当 者	技術開発室
電　　話	06-6686-3208
Ｆ　Ａ　Ｘ	06-6686-3149
緊急連絡先	上記電話番号 および 担当者
整 理 番 号	SDS-7247

製品名（化学名、商品名等）　　クリモトクーラント　５００

2、【危険有害性の要約】

ＧＨＳ分類

物理化学危険性	：	分類できない	
健康に対する有害性	：	急性毒性(経口)	分類できない
	：	急性毒性(経皮)	分類できない
	：	急性毒性(吸入：ガス)	区分に該当しない
	：	急性毒性(吸入：蒸気)	分類できない
	：	急性毒性(吸入：粉じん、ミスト)	分類できない
	：	皮膚腐食性・刺激性	分類できない
	：	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
	：	呼吸器感作性	分類できない
	：	皮膚感作性	分類できない
	：	生殖細胞変異原性	分類できない
	：	発がん性	分類できない
	：	生殖毒性	分類できない
	：	特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	分類できない
	：	特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	分類できない
	：	誤えん有害性	分類できない
	：	水生環境有害性　短期（急性）	分類できない
	：	水生環境有害性　長期（慢性）	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語	：	なし
危険有害性情報	：	なし

注意書き

【安全対策】　すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
使用前に製品説明書を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
個人用保護具や換気装置を使用し、暴露を避けること。
屋外又は換気の良い区域で使用すること。

粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。

【救急処置】

皮膚に付着した場合	：	多量の水と石けんで洗うこと。
眼に入った場合	：	水で数分間、注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合にははずして洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合	：	医師の診断、手当てを受けること。
眼の刺激が持続する場合	：	医師の診断、手当てを受けること。
		気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
【保管】	：	遮光した気密容器に入れ、容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。
【廃棄】	：	内容物や容器を、都道府県知事の認可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。
（注）		物理化学的危険性、健康に対する有害性、環境に対する有害性に関し、上記以外の項目は現時点で「区分に該当しない」又は「分類できない」である。

３、【組成、成分情報】

単一製品・混合物の区別	：	混合物
化学名	：	混合物につき適用外
含有成分	：	防錆剤,潤滑剤,水
ＣＡＳ番号	：	企業秘密なので記載できない。
危険有害成分	：	企業秘密なので記載できない。
労働安全衛生法	：	非該当
化学物質管理促進法（PRTR法）	：	非該当
毒劇取締法	：	非該当
官報公示整理番号（化審法）	：	各成分として登録済み。（企業秘密なので記載できない）
官報公示整理番号（労安法）	：	既存

４、【応急処置】

吸入した場合	：	直ちに新鮮な空気の場所に移し、保温、安静に努め、医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	：	直ちに汚染された衣類や靴を脱ぎ、接触部を水及び石鹸で十分に洗う。痛み等が続く場合は医師の診断を受ける。
眼に入った場合	：	直ちに多量の水で１５分間以上洗眼し、速やかに医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	：	直ちに口を洗浄する。無理に吐かせる事をせず、医師の診断を受ける

５、【火災時の処置】

消火剤	：	散水、泡消火剤、粉末消火剤、噴霧水、炭酸ガス 耐アルコール性消火剤などを用いる。
使ってはならない消火剤	：	棒状注水。
特定危険有害性	：	規定の使用基準では爆発性ではない。
特定の消火方法	：	特になし。
消火を行う者の保護	：	消火作業の際は、必ず保護具を着用する。

６、【漏出時の措置】

人体に対する注意事項	：	こぼれた場合は、すべりやすい為に注意する。
	：	着火した場合に備えて、消火用器材を準備する。
環境に対する注意事項	：	河川等への排出は避けること。
除去方法		
少量の場合	：	おがくず等の吸着剤で取り除き残部はぼろ布等で拭いて焼却する。
多量の場合	：	盛土で流出を防止、できるだけ回収し残部はぼろ布等で拭いて焼却する。
二次災害の防止策	：	人の立ち入りを禁止し、付近の着火源となるものを速やかに取り除く。

7、【取り扱い及び保管上の注意】

取り扱い		
技術的対策	：	取扱い場所近くに、手洗い、洗眼設備等を設ける。
注意事項	：	高温物、スパーク、火災を避け、強酸化物との接触を避ける火気厳禁。
安全取扱い注意事項	：	適切な保護具を着用して取扱う。取扱い後、手、顔等洗い、うがいをする。
保管		
適切な保管条件	：	容器は直射日光を避け、密閉し保管する。

８、【暴露防止及び保護措置】

設備対策	：	蒸気やミストが発生する場合は､局所排気装置を設置する。
管理濃度	：	規定なし
許容濃度	：	規定なし
保護具		
呼吸器用の保護具	：	通常の取扱いでは特に必要ではない。
手の保護具	：	保護手袋
目の保護具	：	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	：	長袖作業服

9、【物理的及び化学的性質】

物理的状態		
形状・色	：	白色半透明液体
臭気	：	微臭
ＰＨ	：	６．０～８．０
物理的状態が変化する特定の温度／温度範囲		
沸点	：	データなし
融点	：	データなし
分解温度	：	データなし
引火点（℃）	：	引火性なし
発火点	：	発火性なし
爆発特性	：	通常の取り扱い条件において安定である。
比重（20℃）	：	１．０
溶解性	：	水に溶解
その他	：	水分が蒸発した場合は可燃性である。

１０、【安定性及び反応性】

安定性	：	所定の取扱い、保管条件において安定である。
反応性	：	所定の取扱い、保管条件において安定である。

危険有害な分解生成物　：　情報なし

１１、【有害情報】

情報なし

１２、【環境影響情報】

情報なし

１３、【廃棄上の注意】

残余廃棄物　：　焼却炉で焼却するか、又は産業廃棄物として専門業者に処理を委託する。
残留性／分解性　：　付着物を除去後、処分する。洗浄廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。

１４、【輸送上の注意】

国際規制
　海上規制情報　：　非危険物
　航空規制情報　：　非危険物
国内規制
　海上規制情報　：　非危険物
　航空規制情報　：　非危険物
特別の安全対策　：　輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、
漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。
重量物を上積みしない。

１５、【適用法令】

国内適用法
化審法　：　既存化学物質名簿への収載
水質汚濁防止法　：　排出基準
下水道法　：　排出規制
海洋汚染防止法　：　排出規制
消防法　：　非該当
労働安全衛生法　：　非該当
毒劇物取締法　：　非該当
化学物質管理促進法（PRTR法）　：　非該当

１６、【その他の情報】

記載内容の取扱い

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しておりますが、含有量物理化学的性質、危険、有害性等に関しては、いかなる保障をするものではありません。注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。